



刈和野保育園児による田植え

刈和野保育園の年中、年長52名の園児の皆さんで1アールの田んぼにあきたこまちの苗を植えました。秋には刈り取った稲を自然乾燥し、同じく保育園で育てたサツマイモのサツマイモ汁と一緒に給食として使っています。乾燥した稲ワラは大綱引きの綱作りに活用され、園児の皆さんも綱作りに参加しております。



(ちょっとみちくさ)

上：県指定天然記念物
「枝垂桜」(協和地域)
樹齢300年以上

右：太田地域「水仙
ロード」を元気に登校
する太田東小の児童



主な内容

CONTENTS

■ 第2回定例会・第2回臨時会概要・所信表明	2～3
■ 5人の議員が一般質問	4～6
■ 委員会審査のあらまし	7
■ 市政懇談会、請願・陳情・意見書、政務活動費	8～9
■ 市民の声、歴史巡り・花巡り	10

第2回定例会

6月3日(月)～6月19日(水)17日間

議員報酬を削減

第2回定例会は6月3日に招集され、6月19日までの17日間の会期で行われました。本会議1日目には人事案1件、条例案6件、補正予算案11件の計18件が上程され、同日に人事案1件を同意と決しました。本会議2日目には4議員による一般質問が行われ市政全般にわたって市当局の見解を質しました。本会議3日目には、一般質問に1議員が登壇したほか、条例案、予算案、請願、陳情が各常任委員会へ付託されました。本会議4日目の最終日には人事案2件、条例案1件が追加提案され、提出された議案をいずれも原案可決、同意と決し第2回定例会は閉会しました。主な内容は次のとおりです。

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
(全会一致で同意)

・森 京子氏(刘和野Ⅱ新任)
▼教育委員会委員の任命について
(全会一致で同意)

・伊藤 良氏(角間川Ⅱ新任)
・竹原まゆみ氏(神宮寺Ⅱ新任)

条例案

▼大仙市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(全会一致で原案可決)

国家公務員の給与削減措置を踏まえた国からの地方公務員の給料減額要請を受け、一般職の職員の給料の減額措置を講ずることに鑑み、市長及び副市長の給料を、平成25年7月1日から平成26年3月

31日まで、給料の5%を減額するもの。

▼大仙市議会の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(全会一致で原案可決)

国家公務員の給与削減措置を踏まえた国からの地方公務員の給料減額要請を受け、議員報酬についても、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、職員に準じて議員報酬を1.5%削減するもの。

▼大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(賛成多数で原案可決)

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与減額措置を踏まえた国からの給料の減額要請を受け、一般職の職員の給料を平成25年7月1日から平成26年3月31日まで、1.5%減額するもの。

▼反対討論【佐藤文子議員】
大仙市一般職の職員の給与に関する条

例の一部を改正する条例の制定については、震災からの復興を口実とした、国の地方交付税削減のための公務員給与削減であり、本条例案は、賛成できないものである。

▼賛成討論【富岡喜芳議員】

本条例案は、国の厳しい財政状況及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、国の要請を受けたものである。地方経済が低迷していることは事実であるが、市職員だけが給料をそのまま頂くとするのは市民の理解を得られない。東日本大震災の復興財源のため、本条例案に賛成する。

補正予算

▼平成25年度大仙市一般会計補正予算(第2号)
(賛成多数で原案可決)

歳入歳出予算の総額に2億2,377万3千円を追加し、補正後の一般会計の総額は477億1,256万2千円となるもの。

主な補正の内容としては、常設排水ポンプ設置事業に3,533万円、放課後児童クラブ施設整備事業に6,995万円、風しん予防接種の助成事業に1,808万円、ほ場整備事業及び負担金に2,567万円、豪雪被害の生産施設復旧事業に1,872万円、除雪機械購入費として2,637万円、市街地再開発事業の市道改良事業に4,379万円、道路照明灯設置事業に1,900万円、落雪により破損した施設整備に890万円、地域職業訓練センター修繕費として2,425万円等の増額補正。職員人件

費5,043万円、国民健康保険事業特別会計繰出金1,401万円等の減額補正となっている。

▼反対討論【佐藤文子議員】

平成25年度大仙市一般会計補正予算については、職員の給与の減額補正が行われていることから、今回の国の要請に応じた公務員給与の引き下げ実施には反対するものである。

5月22日に東京都日比谷公会堂で開催された「第89回全国市議会議長会定期総会」において、佐藤隆盛議員、杉沢千恵子議員、小松栄治議員、富岡喜芳議員、佐藤清吉議員、高橋幸晴議員、竹原弘治議員が在職10年以上により、永年勤続者表彰を受けられ、第2回定例会1日目の本会議開会前に鎌田正議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



第2回臨時会

4月25日(木)1日間

市長が3期目の所信表明

平成25年第2回臨時会が4月25日に1日間の会期で招集され、平成24年度一般会計補正予算(第12号)、や市税条例の一部改正案など専決処分報告5件と財産取得3件、平成25年度一般会計補正予算(第1号)及び平成25年度学校給食事業特別会計補正予算(第1号)の2件が上程され、承認、原案可決されました。

▼専決処分報告

(全会一致で承認)

専決処分報告のうち、平成24年度一般会計補正予算(第12号)では、基金の積立のほか、大台スキー場の指定管理料836万3千円の補正で、補正後の総額は504億8,461万5千円となるもの。

▼財産の取得

(全会一致で原案可決)

防災・安全社会資本整備交付金で除雪機械3台(仙北・南外・中仙へ配備)を計5,052万6千円で購入。

▼平成25年度一般会計補正予算(第1号)

(賛成多数で原案可決)

歳入歳出の総額に8,643万3千円を増額し、補正後の総額は474億8,878万9千円となるもの。

補正の主なものとして、豪雪による市道補修費5,300万円、融雪による橋りょう、河川の災害復旧費1,146万円、雄物川河川緑地運動公園(グラウンドゴルフ場)等の災害復旧費390万円

などの増額補正。

議員4名よりノロウイルス補償費について職員からの協力を財源とせず一般会計の予備費で対応することを内容とした修正動議が出されたが、賛成多数で原案可決となりました。

▼平成25年度学校給食事業特別会計補正予算(第1号)

(全会一致で原案可決)

西部学校給食センターの実施設計委託料2,104万7千円の増額補正の他、中仙学校給食センターが調理した給食が原因となつて2月1日に発生したノロウイルスによる集団食中毒の補償、児童生徒691人、教職員97人、家族106人、計894人の補償費1,370万2千円の増額補正。



◀南外に導入する除雪機械の同型車



▶被災した雄物川河川敷緑地運動公園

4月25日の第2回大仙市議会臨時会において、市長より所信表明がありましたので、その要旨をご報告いたします。

【栗林市長】

先の市長選挙において、議員の皆様をはじめ、多くの市民のご支援のもと無投票により、引き続き市政運営の舵取りを担わせていただくこととなりました。このことは、2期8年間の市政運営に対し、市民の皆様から一定の評価をいただいたものと考えておりますが、道はまだ中半であり、さらに重い責任を頂戴したものと、身の引き締まる思いをいたしているところであります。

3期目におきましても、これまでの歩みを決して止めることなく、「市政は市民のために」という基本理念のもと、今、そして、将来の本市の姿を見据えながら、市民の皆様が安心して暮らせる郷土づくり、未来を担う子ども達が自慢できる故郷づくりに全身全霊を傾けてまいりる所存であります。

私は、3期目を目指したこの度の市長選挙では、合併後10年を新市の基礎固めの時期と捉え、これに続く大仙市発展に向けた次なるステージに歩みを進めるため、7つの公約を掲げ、市民の皆様に対し、全力で市政運営に取り組むことを約束いたします。

- 1つ目は「仙北組合総合病院を核とした再開発事業の完成」
- 2つ目は「市民と行政との協働のまちづくりの推進」
- 3つ目は「文化・生活の根元である農

業の振興」

4つ目は「子育てと教育の充実」

5つ目は「災害に強いまちづくりの推進」

6つ目は「若い人達の雇用の場の確保」

7つ目は「地方分権時代にふさわしい行財政改革」であります。

この、7つの公約も含め、福祉、産業、交通、環境、インフラ、雪対策など本市が抱える様々な分野における課題に正面から向き合い、解決に向けて必要となる取組を実行に移していきます。

最後に、私の政治感「弱い立場にある人たちにいかに政治の光をあてるか」であります。

今後の市政運営においても、謙虚に、決して驕ることなく、時には果断に、市民のために「何が必要なのか」「今何をなすべきなのか」を常に考えながら、弱い立場にある人たちに、もあまねく政治の光が届くよう、柔軟で力強い施策をこれからも展開してまいります。



▲建設中の仙北組合総合病院



大地の会

石塚 柏 議員

Q 食中毒事故を防ぐ、HACCP
食品安全管理システムの導入を

A 学校給食総合センターを始め、
全てのセンターに導入する

質問 今年の2月に仙学校給食センターで406人の食中毒事故が発生したが、この事故を振り返り、再発防止にどう生かすか。

教育指導部長 「手洗い」の徹底、職員等の健康チェック、大仙保健所から監視及び評価を行なう、より安全な給食の提供に務めたい。

質問 ノロウイルスのような感染力の強いウイルスに対抗するには、食品工場全体を包み込む安全対策でなければならぬ。今回のように感染源を特定できない場合は、なお更である。我が国にはHACCP（ハサップ）という仕事の流れ全体を管理する食品安全管理システムがあるが導入する考えはないか。更に、ハサップを導入した場合、年1回、県からシステムが基準を満たす内容か検査がある。事故を風化させない為にも、導入して

はどうか。

教育指導部長 ハサップは、食品の原材料から消費に至るまで、全ての工程に、管理基準を設けて監視することで、危害の発生を未然に防ぐ管理手法である。県内の学校給食センターでハサップの認証を受けている施設はないが、今後研究し、学校給食総合センターを筆頭に、市内の全ての給食センターに順次、ハサップを導入してまいりたい。

外郭団体の経営管理の現状は

質問 現在大仙市には、民間手法の良さを取り入れた出資法人・財政援助団体が20法人、従業員1,900人余り、売上高や予算規模が合計で107億円と大きな事業規模になっている。この管理の現状は如何か。

市長 各団体が経営理念や定款によって主体的

に経営にあたるべきものと捉えているが、出資比率が50%を超える場合、あるいは政策として設立した大仙ふくし会や大空大仙は、一定の経営関与を果たすべきと捉え、関与している。

質問 民営化された法人の代表者は無報酬となっているが、善管義務もあり無報酬のままが良いのか。報酬について明文化するべきではないか。

市長 民営化法人の役員は無報酬となっている。但し、第三セクターの場合、報酬規定の改正をすれば報酬を支払う事は可能である。また、社会福祉法人の場合、「役員」の地位にあることのみでは支給しないと規則に定められている。然しながら、勤務時間、勤務形態によって報酬規定を定める場合は報酬を支給できると解釈している。

一般質問



新政会

小松栄治 議員

Q 未利用の土地と建物は
今後どのように利用

A 貸付や売却の条件を整理し
広く周知する

質問 未利用の土地と建物は今後どのように利用するのか。また、有償、無償貸付と売却可能資産は何件か伺う。

副市長 旧大沢郷小学校と旧双葉小学校の利活用については西仙北地域協議会で協議してきたが、提案書の提出までは至らなく、今後市全体で貸付や売却の条件を整理し、ホームページ等へ掲載するなど、広く周知したい。また、市の有償貸付は103件、無償貸付は124件、売却可能資産は42件である。

産業の創出と
新エネルギー

質問 新たな産業の創出と雇用についてと新エネルギー（水力発電・太陽光発電メガソーラー）の計画と見直しについて伺う。

市長 今年4月西仙北地域旧西中の寄宿舎とその周辺土地に西部新規就農者研修施設を若き担い手育成の

ために開所した。また、旧西中の校舎を農業生産法人に貸付し、地場産野菜の加工や冷凍施設を整備し、新たな雇用とビジネスモデルの確立にと期待している。

市長 DCに向け観光関係団体等とホスピタリティの向上と首都圏等の駅媒体を活用しガイドブックやポスター、インターネット、メディアへの情報発信、旅行エージェント等への誘客プロモーション事業を行う。秋田DCに合わせJR大曲駅で「おもてなし力事業」を計画しており、また、観光施設や旅館業への支援には、駅構内や道の駅に観光案内の他、案内標識等の整備、観光客への情報提供、文化財や名称旧跡には案内板と必要な修繕等を行っていく。

質問 今年度の観光キャンペーンと来年のアフターDC及び国民文化祭を結び付け、どう取り組んでいかれるのか。また、観光施設、旅館業、文化財、名所旧跡

アフターDCと
国民文化祭の取組は

質問 今年度の観光キャンペーンと来年のアフターDC及び国民文化祭を結び付け、どう取り組んでいかれるのか。また、観光施設、旅館業、文化財、名所旧跡

※小松議員はこれらの他「農林業の今後の方向について（林業の支援等）」「学校での防災学習と地域自主防災組織の結成、避難ルート」の指定、災害弱者への支援について」の質問も行いました。

5人の議員が市政全般にわたり



市民クラブ
佐藤隆盛 議員

Q 小学校通学路の
安全対策は

A 通学路危険箇所マップ等
を作成し、迅速な対応に
努めている

質問 小学生を持つ親の心配は毎日の登下校時の安全であり、他をさしおいても万全を期すべきである。通学路の安全対策にどのように取り組んできたのか。

教育長 通学路危険箇所マップ、重点除雪箇所マップを作成し、学校と関係機関の情報共有を図り、迅速な対応に努めている。

質問 昨年7月の緊急点検の結果、危険箇所の対応はどのように行ったのか、又未対策の箇所についてはいつまでにどの様に対処するのか。

教育長 学校から41カ所の危険箇所の申告を受けその結果、平成25年3月末までに対策を講じる事ができた危険箇所は27カ所、残り14箇所の内、横断歩道移設・新設、外側線引き直し、交差点部の改修、時差式信号の設置、スクランブル交差点等11箇所については本年

度内に完了予定であり、事業量の大きい歩道の設置及び転落防止柵の改修の2箇所については年次計画で進捗を図り、また、残る国及び県の関係箇所については、早急に改善できるように強く働きかける。

事務処理ミスの防止策は

質問 合併後、職員の本庁・支所間の異動が行われるようになり、出身地域以外の業務にも携わることが多くなったと思われるが、地域に密着した業務を行っているという意識が希薄化し、緊張感が薄れているのではないか。また、職員の意思疎通や融和は図られているか、朝礼など具体的な対策はどの様に行われているか。

市長 最近の事務処理ミスは、最終的に複数の職員によるチェックを行って

なかつたなど、初歩的なミスが多く、詰めが甘かつたことが大きな原因。これは日頃からの職員同士のコミュニケーション不足から一人仕事に陥りやすくなっているためだと考えている。そこで毎朝のあいさつの励行と週一回のミーティングを必ず実施し、課あるいは班ごとに個々に担当する業務の進捗状況等を確認し合うことを今一度、職員全員に徹底させる。

質問 事務処理ミスや事故防止再発対策として、新たにプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

市長 組織として、どういう仕組みで対応できるかという問題を真剣に検討したい。検討した結果については、後日報告する。

一般質問



新公会
藤田君雄 議員

Q 農産物ブランド化の対策は

A 関係機関、団体と協議をし、大規模化や高品質化によるブランド化が可能か検討する

質問 農産物ブランド化について、どのような考えをもっているのか。

市長 特定の地域で生産された農産物の高品質化や高付加価値化により、他産地との差別化を図ることは、農家の生産意欲と所得の向上に結びつく、地域全体のイメージ向上にも寄与する。関係機関、団体と協議をし、大規模化や高品質化によるブランド化が可能かどうか、検討を加える。

質問 ブランド化の対策はどの様に考えるのか。

市長 農産物の徹底した差別化、高品質化により、特定の作物をブランド化する取組や、気候風土の違い、また、大規模産地形成により市場に影響力を持つことでブランド化を図るなど考えられる。美味しいあきたこまちの一大産地であるが、稲作に偏った営農形態から近年複合経営を推進

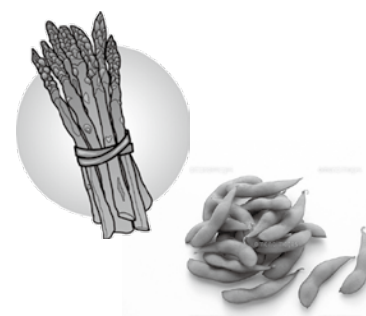
した結果、アスパラガス、枝豆等は一定の生産量が確保された。さらに、生産管理体制統一化、厳格化により、知名度の向上に結びつく。また、県では、園芸メガ団地構想を推進しているが、市でも整備費の負担を含め支援していく。

市名変更の考えは

質問 日本一の大曲の花火を全面に出し、地域ブランド化を進め、農家経済をはじめとする地域全体の経済の活性化を図るため、市の名称を「大仙市」から「大曲市」へ変更する考えはないのか。

市長 市の名称変更は、県知事と事前協議を経て、条例を制定し知事に報告することなどにより可能である。それには、市民のコンセンサスが必要不可欠であり、未来志向の戦略的な考

えに立った市名変更の気運が高まり、目に見える形の運動、活動があれば、検討に向けた第一歩が踏み出せる。地域ブランド化を進め地域活性化を図るうえで、県外での知名度不足が、その進展を遅らせているとの声や「大仙市」という名称に違和感や地域性の欠如を指摘する声の一部に依然としてあることは承知している。提案については、その気持ちを真摯に受けとめさせていただきます。





日本共産党

佐藤文子 議員

Q 生活保護基準見直しと各種制度への対応は

A 負担軽減を検討したい

質問 生活保護基準の1・3倍としている準要保護基準や市民税非課税世帯を対象とした市単独のサービス事業の要件について、生活保護基準の引き下げを口実に、引き下げることの無いよう対応していただきたい。

市長 今回の基準改定により、生活保護から脱却し、階層区分の変更により、自己負担が増える世帯も見込まれる。また、準要保護の決定においても対象者でなくなる世帯もあり、制度を活用できなくなることも見込まれる。これらの自己負担が増える対象世帯は確定していないが激変緩和措置などの調整もあり、被保護者への影響は少ないものと見込んでいる。今回の基準改定により、自己負担となる世帯に対しては、できるだけ負担軽減となるような措置を今後検討してまいりたい。

質問 生活保護基準の引き下げに連動して、住民税の非課税限度額を引き下げることのないよう政府に求めていく必要があるのではないか。

市長 総務省は非課税限度額への対応は「平成26年度以降の税制改正で検討したい」としていることから、市長会を通じて国に対して、こうした対応を求めていきたい。

質問 生活保護基準の引き下げに連動して、住民税の非課税限度額を引き下げることのないよう政府に求めていく必要があるのではないか。

生涯学習施設使用料の見直しを

質問 市内に48ある市民会館や公民館、コミュニティセンターなどの生涯学習施設の研修室の使用料に格差がある。多くの市民が生き生きと社会活動ができるよう、現在の生涯学習施設の料金体系を、低料金に統一化を図る方向で見直す

市長 市内に48ある市民会館や公民館、コミュニティセンターなどの生涯学習施設の研修室の使用料に格差がある。多くの市民が生き生きと社会活動ができるよう、現在の生涯学習施設の料金体系を、低料金に統一化を図る方向で見直す

質問 生活保護基準の1・3倍としている準要保護基準や市民税非課税世帯を対象とした市単独のサービス事業の要件について、生活保護基準の引き下げを口実に、引き下げることの無いよう対応していただきたい。

市長 今回の基準改定により、生活保護から脱却し、階層区分の変更により、自己負担が増える世帯も見込まれる。また、準要保護の決定においても対象者でなくなる世帯もあり、制度を活用できなくなることも見込まれる。これらの自己負担が増える対象世帯は確定していないが激変緩和措置などの調整もあり、被保護者への影響は少ないものと見込んでいる。今回の基準改定により、自己負担となる世帯に対しては、できるだけ負担軽減となるような措置を今後検討してまいりたい。



※佐藤文子議員は、これら他「市職員の増員を図ることについて」の質問も行ってまいりました。

一般質問

先進地に学ぶ

◆議会運営委員会

基本条例制定後の議会改革と活性化の取組を研修

平成25年5月29日から5月31日まで、奈良県の生駒市と京都府の木津川市を行政視察いたしました。生駒市でありましたが、人口12万人で、平成24年度の歳入歳出決算総額は333億円あり、生駒駅前再開発や関西文化学術研究都市などにより、さらなる飛躍が期待されます。さて、視察の内容は1つ目として、議会改革と活性化（開かれた議会）への取組みの経緯や議会活動に係る基本条例等についてと、2つ目として、地方自治法第100条の2に「議会は議案の審査又は事務に関する調査のために必要な専門的事項に係る調査を学識経験者等にさせることができる。」とあり、その専門的知見の活用についてであります。参考人制度の活用や講師の招聘、現地調査の実施、学識経験者に調査を委託するなどしているとのことであり

ます。3つ目の議会災害対策本部設置要綱及び議会災害対策行動マニュアルについては、行政と議会と協力する議会災害対策本部を設置したり、行動マニュアルでは初期期、復旧、復興時（中期、後期）に区切り、状況変化に応じた運用を規定し、実施に向け取り組んでいるとのことでありました。

次に、木津川市でありましたが、人口は6万9千人、平成24年度の歳入歳出決算総額は265億あまりで、現在、子育て支援ナンバーワンを目指しております。視察の内容は、議会基本条例制定後の議会改革と活性化への取組についてでありましたが、市民参加の議会報告会や請願者等の説明機会の確保などであり、情報公開の推進では、インターネット中継や政務活動費の公表、今後の課題として、自由討議や参加者へのPR、要望等に対する対応



生駒市で研修の議会運営委員会委員

結ぶに、今回の研修の貴重な事例を今後の議会運営の参考にしていきたいと思っております。
(委員長 小松栄治 記)

総務民生常任委員会

東日本大震災の復興財源確保のため、国からの給与削減措置要請に基づいた市長、副市長、教育長、常勤監査委員の給料を7月から26年3月まで引き下げる条例改正については、全員一致で可決すべきものと決したが、一般職員の給料を同様に1.5%削減する改正について、「公務員給与削減による地域経済へのマイナス効果は大きい。民間の賃金引き下げに連動するものであり、反対する。」との発言と、「経済の低迷から給料そのままというのは市民の理解が得られない。議員も全員一致で実施している。これからの職員の定数、人件費のあり方を検討することを付して賛成する。」との発言があり、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

豪雪時に事故で亡くなられた場合、災害救助法を適用して弔慰金を支給する条例について、「災害救助法が適用されていない場合でも支給できないのか。」との発言に、「災害として認定するのを市独自で判断するのは難しい。」との答弁でした。

四ツ屋字上前村地区消火栓新設についての請願は、現場確認のうえ、施設新設は、消防法の規定に基づき、消火栓、防火水槽、池、プール、井戸等を基点として140mの範囲内か外かで判断しており、当地区は、この基準を満たしており、早期に整備すべき地点が大仙市内に多数あることから、賛成少数により、不採択と決しました。

(委員長 渡邊秀俊 記)

企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となりました案件は、補正予算案1件であり、「秋田県青果物価格安定基金協会負担金」で「価格補てんされる対象作物は、JAに出荷したすべての作物か。」との質疑に対し、「JA秋田おぼこでは、今年度分として、キャベツ、小菊、トルコギキョウ、輪菊、りんどうを届出し、この5品目を対象作物としている。」との答弁がありました。また、「災害復旧関連事業について、施設復旧に対する助成も必要であるが、被災の繰り返しを防ぐことによる農家負担の軽減も視野に入れ、丈夫なパイプハウスの導入を指導するなど、被災しないような対策が必要ではないか。」との質疑に対し、「農協、共済組合を通じ、被害が少なくなるような方法を指導してまいりたい。」との答弁がありました。また、「県で行っている園芸メガ団地構想とあわせ、圃場整備の未整備地区について、農地の集積と特定品目のブランド化を図るほか、地域農業を担う法人の育成にもつながることから、この手法を取り入れた圃場整備事業の研究を進めてほしい。」との意見がありました。他にも質疑はありましたが、審査した結果、原案を可決すべきものと決しました。

(委員長 茂木 隆 記)

教育福祉常任委員会

当委員会では、条例案1件、補正予算案3件、請願1件の審査を行い、条例案、補正予算案については、すべてを原案可決すべきものと決し、請願第19号「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択について」は、願意を妥当とし、採択すべきものと決しました。

条例案の審査の中で委員から、「子ども条例を制定するにあたり、どのような方々に委員をお願いするのか。」との質疑に対して当局から「様々な角度・観点から多くの意見をいただくために、人権擁護委員やPTA・子ども会・企業・男女共同参画・子育て支援等の関係者、さらに公募の委員で構成したい。」との答弁がありました。

また、補正予算案の審査の中で当局から、「神岡野球場は市の大きな大会でもある全県500歳野球大会の開会式や主会場となる球場であり、トイレの改修等については利用者からも多くの要望があったところであり、今年の大会前までに改修工事を完了するように行きたい。」との説明に対して委員からは、「せつかく新しいトイレにしても、管理等がよくなければ意味がない。いつでもきれいに使えるように、指定管理者の指導を厳重にしていきたい。」との意見がありました。それに対して当局からは、「指定管理者には衛生管理の指導を徹底して行ってまいりたい。また、市としてもこまめに巡回をし、清掃面・衛生面に配慮してまいりたい。」との答弁がありました。

(委員長 大山利吉 記)

建設水道常任委員会

当委員会では、補正予算案7件、陳情1件を審査しました。補正予算案では、国の交付金により西仙北地域に13t級の除雪機械を導入する経費、歩道の整備、市街地開発関係の道路と照明灯の整備、神岡地域の街灯のLED化などの経費が新規に上程されました。質疑では委員から「商工会で管理する街灯の維持管理ができなくなってきている。要望があれば、市で管理するという今後の計画はあるのか。」との発言があり、当局からは、「ESCO事業で街路灯を整備したが、はずれた地区があるとすれば、神岡地域同様に対応していかなければならない。」との答弁がありました。補正予算案については、7件すべてを、原案可決すべきものと決しました。また、継続審査としていた、西仙北地域の「鍛冶町地内の消雪施設の改修について」は、道路が狭く消雪施設が重要な役割を果たしていることなどから、願意を妥当とし、採択すべきものと決しました。

(委員長 竹原弘治 記)



陳情の現地調査（鍛冶町）

大仙市議会市政懇談会を開催

市政懇談会に241人の市民が参加

大仙市議会基本条例に基づき、去る6月24日～28日まで、大仙市議会市政懇談会を開催しました。議員が、5班編制で市内10箇所へ出向き、市民の皆様からたくさんのご意見、ご提言を頂きました。

内容は、地域の身近な道路改良などの要望や消防防災施設の整備、消雪施設の維持管理、さらに、市の財政についてなど、多岐にわたる意見交換を行いました。

また、アンケートを行い、参加者から多数のご意見も頂きました。主なご意見は、「合併して良かったと言える市にしてもらいたい。」「日曜日とか夜の開催となれば、若い人が参加できるのでは。」「いろいろ話を聞くことができて参考になった。」「検討課題に取り組むといていたが、24年度実施報告後、改善の跡が見られない。」「合併後8年、地域に活気がない、対策は。」「住民の方が知っている事もあり、議員との意見交換はすごく大事だと思いました。」「協議案件の提示があった方が良い。」などでした。今後、これらのご意見を参考に、市民の皆様のご要望を把握し、開かれた議会を目指してまいります。

なお、市民の皆様から開催の要望があれば、何時でも、皆様の所へ出向きますので、お知らせ下さい。

「市政懇談会」への出席者数



西仙北地域での市政懇談会

期 日	会 場	人 数
24日(月)	南外コミュニティセンター(南外字下袋218)	26人
	はびねす大仙(幸町2-70)	19人
25日(火)	大川西根公民館(大曲西根字小館10)	4人
	藤木公民館(藤木字乙本藤木8)	9人
26日(水)	神岡福祉センター(神宮寺字蓮沼17)	17人
	中仙農村環境改善センター(北長野字茶畑141)	5人
27日(木)	西仙北支所(刈和野字本町5)	68人
	協和支所(境字野田4)	41人
28日(金)	太田文化プラザ(太田字新田田尻3-4)	15人
	仙北支所(高梨字田茂木10)	37人
計		241人

請願・陳情・意見書

《請 願》

- ◆大仙市四ツ屋字上前村地区消火栓設備新設について 【不採択】
提出者 四ツ屋上前村 代表 藤田勇悦 他3名
- ◆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書の採択について 【採 択】
提出者 秋田市 秋田県教職員組合執行委員長 山縣稔 他1名
- ◆「下水道の整備に伴う一般廃棄物等の合理化に関する特別措置法」に関することについて 【継続審査】
提出者 北栖岡字小路袋 秋田循環資源協同組合理事長 佐々木正光 他6名

《陳 情》

- ◆ドクターヘリの安全運航と県民の安全、安心を守るため米軍機(F-16とMV22オスプレイ)の低空飛行中止を求めることについて 【採 択】
提出者 秋田市 秋田県平和委員会理事長 風間幸蔵
- ◆鍛冶町地内の消雪施設の改修について 【採 択】
提出者 刈和野 鍛冶町消雪組合組合長 池田繁司

《意見書》

- ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るため米軍機(F-16とMV22オスプレイ)の低空飛行中止を求める意見書
- 日本政府に核兵器全面禁止の決断と行動を求める意見書
- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書

※上記意見書は、大仙市議会常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣をはじめ各関係大臣に提出しました。

28日	26日	25日	24日	21日	19日	17日	13日	12日	11日	4日	3日	6月	30日	29日	27日	22日	17日	14日	7日	1日	5月	26日	25日	23日	22日	19日	17日	16日	15日	1日	4月						
市政懇談会(太田地域・仙北地域)	福島県須賀川市議会会派誠心クラブ行政視察来庁	福島県須賀川市議会会派誠心クラブ行政視察来庁	市政懇談会(神岡地域・中仙地域)	市政懇談会(大川西根地区・藤木地区)	市政懇談会(南外地域・大曲地区)	横手市議会厚生常任委員会行政視察来庁	議会報編集委員会	議員全員協議会	第2回定例会(第4日)	議会運営委員会	第22回公共施設運営改善等調査特別委員会各常任委員会審査	議会運営委員会	第2回定例会(第3日)	会派代表者会議	第16回議会改革推進会議	第2回定例会(第1日)	議員全員協議会・会派代表者会議	企画産業常任委員会「所管事務調査」	第2回定例会(第2日)	総務民生常任委員会「所管事務調査」	第2回定例会(第3日)	会派代表者会議	第22回公共施設運営改善等調査特別委員会各常任委員会審査	議会運営委員会	第2回臨時会	議員全員協議会	福岡県福岡市議会行政視察来庁	福岡県福岡市議会行政視察来庁	来庁	企画産業常任委員会「所管事務調査」	北海道中標津町議会総務文教常任委員会行政視察来庁	議会報編集委員会	教育福祉常任委員会「所管事務調査」	建設水道常任委員会「所管事務調査」	兵庫県宝塚市議会行政視察来庁	総務民生常任委員会「所管事務調査」	委員会正副委員長会議・会派代表者会議

平成24年度政務活動費会派別収支状況

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費として、会派ごとに交付されているものです。収支の内容は、毎年度議長に報告され、残額がある場合は、市に返還することになっております。

項目	会派名 大地の会 (11人)	だいせんの会 (6人)	新政会 (6人)	市民クラブ (2人)	公明党 (1人)	日本共産党 (1人)	まっすぐ大仙 (1人)
会派への交付額	1,320,000	720,000	720,000	240,000	120,000	120,000	120,000
調査研究費	1,311,000	667,526	651,343	222,507	0	0	118,000
研修費	0	0	0	0	0	0	2,000
広報費	0	0	0	0	0	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	10,000	0	0	0	0
資料購入費	0	0	31,500	0	2,935	15,950	0
その他の経費	9,000	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0
支出合計	1,320,000	670,526	695,843	225,507	5,935	15,950	120,000
差引額(返還額)	0	49,474	24,157	14,493	114,065	104,050	0

※交付額は1人当たり月10,000円

【政務活動費の項目解説】(主なもの)

調査研究費：会派が行う、市の事務・地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費（資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等）

研修費：会派が研修会を開催する経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費（講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費）

資料作成費：活動に必要な資料の作成に要する経費（印刷製本代、事務機器購入、リース代等）

資料購入費：活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース料）

その他の経費：調査研究その他の活動に必要な諸費

9月定例会日程のお知らせ

8月27日(火)	本会議第1日(市政報告・議案上等等)
9月4日(水)	本会議第2日(一般質問) 対面式一問一答方式
5日(木)	本会議第3日(一般質問・議案質疑・委員会付託)
6日(金)・9日(月)	常任委員会審査
12日(木)	本会議第4日(委員長報告・質疑・討論・表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費 (4月1日～6月30日)

摘要	件数	金額
弔意	2件	122,185円
慶祝	15件	41,000円
協賛	5件	20,000円
計	22件	183,185円

市民の声

広報については、毎回期待し楽しみにしています。表紙の写真は広報の顔でもあり、いいね〜と思ったり、編集後記も担当者の人となりや勝手に想像して読んでいます。合併により大仙市も広範囲になりご苦労されていると思いますが、こんな記事もあつたらと、思いつきで書いてみます。

①郡部の支所紹介(スタッフの写真や支所の特徴) ②大曲支所については、部署紹介とその役割、市民の利用の仕方などもあればいいかな〜と。③種々の制度の利用の仕方、ワンポイントコーナーはどうでしょう! ④次世代を担う若者からのまちづくりへの提言の記事も。(若者ならではの発想の掘り起こしになるのでは?)

大曲の自慢は?と言われ「何にもない、年1度のドンとあがる花火だけだ・・」と市民に言わせないために、市民と行政をつなぐパイプ役としての広報の持つ役割は大きいと思う。期待しています。大曲田町 60代 主婦

会社勤めで議会の傍聴をする機会がない私にとって、「市議会だより」は市議会の動きを知る重要なツールの一つとなっています。条例案や予算案など議案の内容や一般質問の内容は読み易くまとめられています。委員会などで議論されている内容やその結果どのように市政に反映されたのかなどの記事があれば、もっと議会の活動や役割が伝わるのではないのでしょうか。

大曲地区 30代 男性

平成25年2月1日発行のだいせん議会だより「市民の声」に記事の誤りがありましたので、訂正して掲載するとともに深くお詫び申し上げます。
【訂正記事】

三月定例議会の一般質問を傍聴したところ、傍聴者が多く、また、質問、答弁も緊張感があり頼もしく感じました。

議場も質問者、答弁者と対面で応答しており好感がもてました。ただ残念に思ったのは私が高輪のせいかも知れませんが市長席のマイク設備が低音で折角期待していた答弁が良く聞き取れず残念でしたので、早く完全なものにして戴きたいと思います。反面委員会席の方は良くはつきりと聞きとれ、「ノロウイルス」の発生から対処、終息までの過程が懇切に答弁され、良く理解されたので、設備の完全なものを願いたいと思いました。

土川地区 後藤 昌伸

協和婦人会では平成7年から研修事業として議会傍聴を実施しています、自分たちの代表が行政にどんな関わり方をしていのか真剣に傍聴してきました。一問一答式になり、午前中の答弁だけでも聴け、よかったです。年回を重ねる毎に市の財政のこと、税金のこと、納税の実態、教育の問題、医療のこと、予期せぬ災害の対応等々、「生活即政治」を実感するようになりました。市長、教育長、行政担当者の答弁はわかりやすく誠実で、専門の深さと誠意が伝わってくる事ばかりでした。ありがたうと感謝の気持ちをかきこめて、一市民として、市政に関心をもち、研修を続けたいと、会場を後にしました。

大仙市協和婦人会

大仙市の歴史巡り(中仙・太田地域)

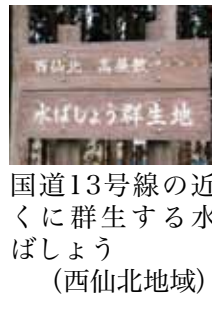


中仙地域 鳥海山廻り石
文政12年(1829)に葛川村を訪ね、鳥海山廻り石と出会い、この和歌を詠んでいる。「あまとぶや鳥の海山うききなく国の守りと立てるいしぶみ。」



太田地域 羽黒堂遺跡
縄文時代から中世までの遺物が出土する。掘立柱づくりの建物跡も出土。愛知県生まれの菅江真澄が文政11年(1828)の秋にこの地に来て、駒場神社境内に建てられている十王堂の中にある十三の木製仏像に感心し、これを筆写し、この和歌を詠んでいる。「写し見る黄泉の地獄の諸王に祈りて手祭む鬼の醜草」

大仙市の花巡り



国道13号線の近くに群生する水ばしょう (西仙北地域)



大台スキー場に群生するカタクリ (太田地域)



編集後記

6月の天候は、日照り続き家庭菜園泣かせの空梅雨かと思われたが、7月に入り雨の日が続き、地域によっては河川の増水、警戒水位避難勧告が出るなど、騒々しい梅雨となりそうです。健康に留意し食中毒など注意したいものです。

議会報編集委員会が独立して、6回目の33号編集まで一貫して議論されたのが、写真を多く、文字を大きく読みやすくと編集を心掛けているが、まだまだだと思います。

議会主催の第2回市政懇談会で、議会報に指摘事項もありましたが、市民からの感想などお寄せいただければと思います。過日議会運営委員会の研修で市民の議会報人気は低調との意見もありました。議員の背中(日常活動)を見て購読人気が上昇するとの意見もありました。

編集委員 大野忠夫

